

海洋観光

南鳥島への航海と 現地での体験を 通じておこなう海の体験学習

チームA

古知屋真友
牧田卓也
三輪芹菜

中宮治香
上運天ともみ
北原雛乃

本日の流れ

1. 国境離島について
2. ツアーのねらい
3. ツアーについて
4. ターゲットについて
5. 具体的なツアー内容
6. 南鳥島での注意点
7. 費用
8. 資金支援
9. ヒアリング調査
10. 今後

国境離島について

- ①国土の保全
- ②海上交通の安全
- ③海洋資源の開発及び利用
- ④海洋環境の保全

99の国境離島



人が行けそうな島

耳にしたことがある

魅力のある島



南鳥島

ツアーのねらい

- ・海や離島、特に南鳥島に
親しみをもってもらう
- ・海や離島、特に南鳥島の
重要性について知ってもらう
- ・その重要性について、
自分事として考えてもらう
- ・将来の人材育成に繋げる

ツアーについて

南鳥島への航海と 現地での体験を通じておこなう 海の体験学習(9日間)

時期: 夏季休業中 人数: 30名



出典: 小笠原村公式サイト

ターゲット

ボーイスカウト(約13万1000人)

理由 自然に親しみを持っている
野外活動プログラムをおこなっている
意欲的に活動している



出典:公益財団法人ボーイスカウト日本連盟⁷

ボーイスカウト の分類



ターゲット

ビーバースカウト(約2万1500人)

小学校1年生直前の1月から

カブスカウト(約4万2000人)

小学校3年生の4月から

ボーイスカウト(約3万6000人)

小学校6年生の4月から

ベンチャースカウト(約1万8500人)

中学校3年生の9月から

ローバースカウト(約1万2500人)

18歳以上から25歳

- 身近、楽しい、親しみ
- 知識
- 自分事



海洋に関する人材育成の土台となる

ビーバースカウト・カブスカウト

海や離島に**楽**しさや親しみをもってもらおう

楽

学

育

ボーイスカウト・ベンチャースカウト

海や離島の重要性について

学び知ってもらおう

ローバースカウト

将来の人材**育**成

ツアー内容



1日目

東京→孀婦岩(そうふがん)
→媒島(なこうどじま)→父島



東京

孀婦岩



媒島



東京→父島 984km
時間 25時間30分

父島

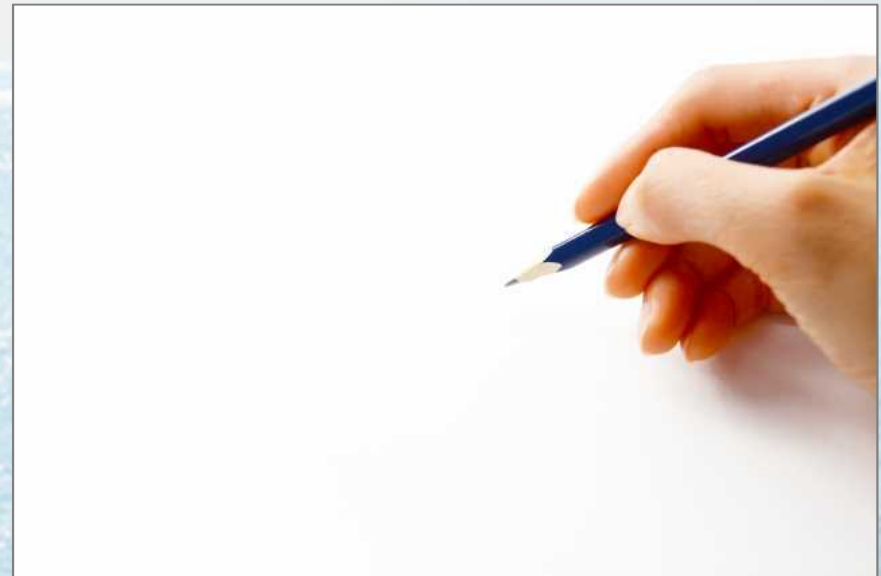
1日目

* オリエンテーション

意識づけ・動機づけをする。

* 国境離島(孀婦岩・媒島)の観察

写真、絵、文などで記録



2日目 父島上陸



父島観光

小港海岸



小笠原海洋センター



シーカヤック



3～4日目

- * 国境離島(孀婦岩・媒島)観察のまとめ・発表
- * 父島についての記録
- * 南鳥島についての講義
- * 船の見学、体験
 - 機関室でエンジンの見学
 - 操舵室で舵をとる



5日目 南鳥島上陸



出典：小笠原村公式サイト

1日のスケジュール

午前中	9:00～高層気象観測見学(気象庁) 自発的な活動
お昼	BBQ
午後	自発的な活動
夜	天体観測 テント泊



* 気象庁の仕事見学



出典: 気象庁 南鳥島気象観測所

高層気象観測

1日2回

気球に吊るした
GPSゾンデを飛揚して観測

観測値は
気象衛星ひまわりを
使用して、気象庁へ

観測項目

気圧・気温・湿度・

風向・風速

自発的な活動

*海水浴



*貝殻採取



*釣り



*ホエールウォッチング



*島散策



*生物観察

サキシマオカヤドカリ



オガサワラトカゲ



コアホウドリ



南鳥島での注意点

ガイド必要
安全な遊歩道の整備

*島内には危険箇所もあり（不発弾、戦車の残骸）

*危険な生物（アフリカマイマイ）

*海水浴ではウェットスーツ着用



出典：国土交通省 南鳥島の環境 資料

*海岸付近で採れる魚や貝は危険（サンゴ毒）

2015年12月時点

国土交通省 関東地方整備局 特定離島港湾事務所

第一特定離島港湾課 課長 廣瀬 好明 様

第一特定離島港湾課 専門官 有路 隆一 様

お話ありがとうございました！

6～8日目

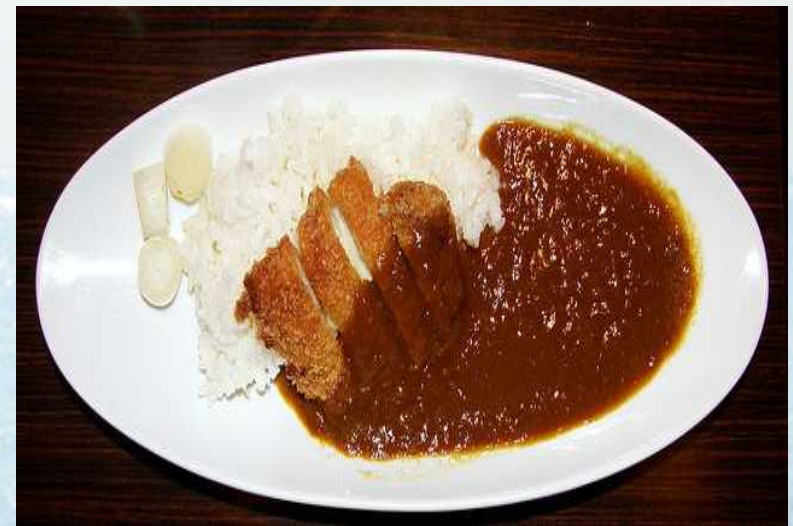
- * 南鳥島のまとめ
- * ツアー全体のまとめ & 発表

8～9日目

- * カレー作り
～船長や乗員の皆さんに
感謝をこめて～

終了後

- * 成果発表会



費用



交通費

*東京→父島 984km 25時間30分
片道 **20,780円** (学割)

参考:おがさわら丸 12月時点

*父島→南鳥島 1300km 2.5日
片道 **約27,500円**

往復 **約96,560円**

食費

1日 2000円 × 9 = 18,000円

保険料

au損保 607円

自費(交通費・食費・保険料)

1人あたり... 約115,167円

ガイド費

10日拘束 1人あたり. . 440,000円

テント等に要する設備費用

例えば. .

テント(6人用) 40,650円 × 6 243,900円

BBQコンロ 10,190円 × 6 61,140円

トング 500円 × 12 6,000円

行政負担

資金支援

- * 日本財団さんの支援事業
- * 国の補助金や助成金等の活用も検討

ヒアリング調査

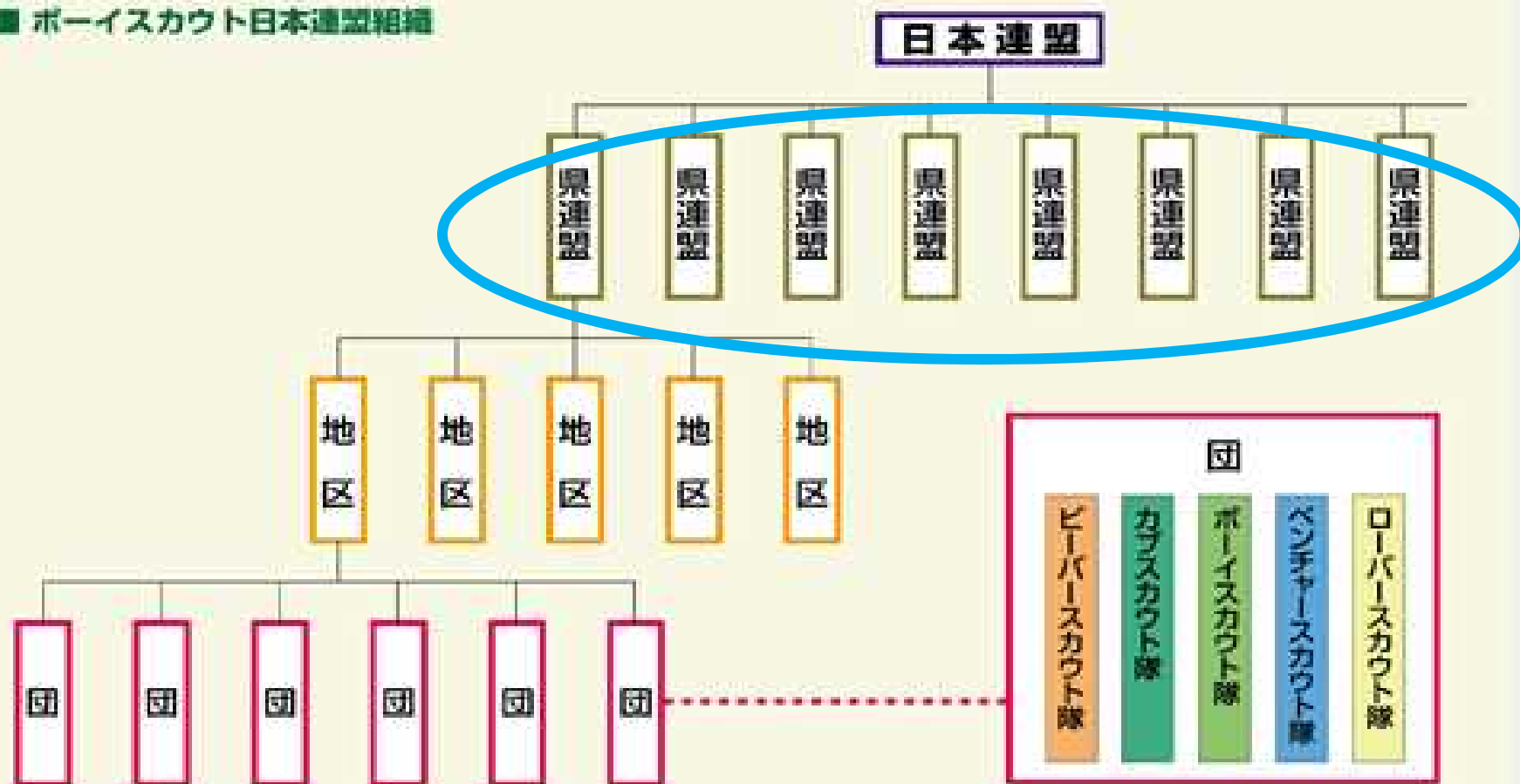
対象

東洋大学ローバースカウト部

- ・南鳥島まで行かなくてもアクティビティはできるから
- ・4日かかるなら、他の離島でも良い
- ・船に片道4日も乗るってことは
誰もが経験できることじゃないから
- ・アクティビティも楽しそうだし
一生の思い出になると思ったから
- ・普通の生活ではできない体験ができ
自分の時間を良いものに使うことが出来る
- ・何があるのか知らないから

今後

■ ボーイスカウト日本連盟組織



Special Thanks to

2015年12月時点

国土交通省 総合政策局 海洋政策課
志水 康祐 様
川口 和行 様

国土交通省 関東地方整備局 特定離島港湾事務所

第一特定離島港湾課 課長 廣瀬 好明 様
第一特定離島港湾課 専門官 有路 隆一 様

ボーイスカウト 横浜第132団 加藤 基 様
(元)横浜第132団 加藤 祐貴 様

東洋大学ローバースカウト部のみなさま



ご清聴ありがとうございました。